



マルト便

MARUTO INFORMATION

お客様の笑顔のために ... チャレンジ！

maruto-shoji.co.jp

ホームページにバックナンバー掲載中



🌻 ごあいさつ

皆さま、こんにちは。

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今年の梅雨はここ数年とは少し異なり、昔ながらの梅雨に近いように感じています。気温もそれほど高くなく、肌寒さを感じる日もあります。雨量はやや多い印象ですが、久しぶりに「梅雨らしい梅雨」なのではないでしょうか。とはいえ、この時期は気温の上昇に伴い生育が進む品目がある一方で、高温や長雨による品質への影響も懸念される季節です。今月号も「玉ねぎ」の動向を中心に、7月の野菜市況の見通しをお届けいたします。

7 月号
July 2026

🍷 国産玉ねぎの状況と7月の見通し

6月は佐賀県産・淡路産を中心とした出回りとなりました。府県産地の順調な生育に伴い、6月上旬までは相場が一気に下がりましたが、中晩生品種がやや小玉傾向となったことから供給数量がやや限られ、現在は相場も落ち着いた推移となっています。

一方で、各産地を視察した際には、中晩生品種も品質・収量ともに良好で、十分な数量が確保されていると感じました。

7月は各産地とも貯蔵出荷が主体となり、市場相場は比較的堅調に推移しながら、北海道産極早生品種の出荷開始を待つ流れとなります。農林水産省の7月見通しでは、佐賀県産は平年を上回る出荷が見込まれ、兵庫県産・香川県産は平年並み、北海道産は7月後半より市場出荷が始まる見込みとなっています。

また、農林水産省では価格は平年を下回るとの見通しが示されていますが、現場の状況を見る限りでは、当面は平年並みからやや高めで推移し、その後北海道産への切り替えが進むものと考えています。

とはいえ、昨年のような品不足の状況から一転し、今年は安定した供給環境の中で北海道産へのバトンタッチが進む見込みです。

🌐 輸入玉ねぎの動き

令和7年産国産玉ねぎの凶作の影響を受け、輸入玉ねぎの使用は現在も継続しています。

主体となる中国・山東省産は、昨年の相場安の影響で作付面積は減少しているものの、価格面では大きな変化はありません。

次産地となる甘粛省についても、栽培面積は山東省同様に減少していますが、生育は順調に推移しているとのことです。

今後は国産相場が落ち着くことで価格面での優位性は縮小していくものと思われます。

一方で、加工用途や年間を通じた安定供給という観点では、昨年の輸入玉ねぎへの切り替えを経て、お客様にとっては選択肢の一つとなっているように感じています。

当社では、国産・輸入それぞれの特長を活かしながら、お客様の用途や品質、コストに応じた最適な原料をご提案してまいります。

🚗 北海道産地情報

6月末に、きたみらい農協様、美幌広域連管内農協様の圃場を視察し、現在の生育状況を確認してまいりました。

今年は積雪が少なかったことから定植作業が例年より前倒しで進み、生育期間を長く確保できたことがプラス材料となっています。また、定植後も適度な降雨に恵まれ、現時点では非常に順調な生育となっています。

昨年は6月中旬以降の猛暑と干ばつが収量に大きな影響を及ぼしましたが、今年は玉ねぎをはじめ各作物にとって理想的な気象条件で推移しています。今後の天気予報を見ても、昨年のような極端な天候被害の可能性は低いように感じています。

生産者の皆様からは、「昨年のような供給不足を繰り返さない」という強い思いが伝わってきました。今年こそ安定供給を実現したいという気持ちが、圃場管理や栽培への取り組みにも表れているように感じました。

7月後半には北海道産の極早生品種の出荷が始まりますが、本格的な収穫は8月以降となります。

現時点では、数年ぶりの豊作が期待できる生育状況であると感じています。

引き続き産地情報を収集し、皆様へタイムリーな情報をお届けしてまいります。



2026年6月30日訪問 北見



帯広

《裏面に続く》

青果物市況（農水省・令和8年7月見通し）

農林水産省の7月見通しによると、全体として

「ブロッコリー、トマト等の価格は平年を上回って推移する一方で、はくさい、たまねぎの価格は平年を下回って推移する見込み」となっています。全体として多くの品目で生育は概ね順調に推移していますが、曇天や降雨の影響を受けた品目では前半に一時的な供給減が見込まれています。

■ 相場が弱含み（安値傾向）となる見込みの品目

- ・たまねぎ：佐賀県産の出荷が平年を上回り、価格は平年を下回る見込み
- ・はくさい：生育回復により出荷が増加し、価格は平年を下回る見込み

■ 相場が強含み（高値傾向）となる見込みの品目

- ・ブロッコリー：需要が堅調で、価格はやや平年を上回る見込み
- ・トマト：前段産地の切り上がり及早まり、7月前半はやや高値となる見込み
- ・きゅうり：7月前半は曇天・雨天の影響による出荷減で高値傾向
- ・ピーマン：前半は出荷減によりやや高値となる見込み
- ・ばれいしょ：前半は産地切り替えの影響でやや高値、後半は平年並みに回復

■ 平年並みで推移する見込みの品目

だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、なす、さといもは、生育順調で平年並みの推移が見込まれます。

7月の総評

7月は、玉ねぎが引き続き安定供給となる一方、北海道産への切り替わりが始まる節目の月となります。

一方で、果菜類は梅雨や曇天の影響を受けやすく、前半を中心に相場が強含む品目が見られます。

今年は昨年のような極端な玉ねぎ不足ではなく、比較的安定した供給環境の中で市場が推移しています。

現時点では、昨年のような極端な供給不足を心配する状況ではなく、平年に近い供給環境へ戻りつつあると感じています。もちろん、今後の天候次第で状況は変化しますが、引き続き産地との情報共有を密に行い、皆様へ最新の情報をお届けしてまいります。

編集後記

北海道での産地視察を終え、今年産の生育は全般的に非常に順調であることを確認することができました。

昨年の北海道は7月以降の猛暑と干ばつが玉ねぎの生育に大きな影響を与えました。その経験があるからこそ、今年は産地でも早期定植や栽培管理の見直しなど、さまざまな対策が講じられています。

今回は馬鈴薯の圃場も視察させていただきましたが、馬鈴薯も非常に生育が良く、昨年の作柄不良を取り戻そうという生産者の皆様の強い思いが伝わってきました。

私たちも引き続き産地へ足を運び、生産者の皆様と情報交換を重ねながら、タイムリーで価値ある情報をお届けしてまいります。

今月もマルト商事をどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社マルト商事 代表取締役 戸澤 周一
ホームページ：www.maruto-shoji.co.jp

7月の玉ねぎを使ったおすすめ料理

玉ねぎ丸ごとジューシー風

玉ねぎをメインに沖縄のジューシーをアレンジしてみました。玉ねぎの甘みとランチョンミートの旨みが相まって暑い日でもペロリと食べてしまえるスタミナメニューです。

<材料 2~3人前>

- ・米 2合
- ・水 340ml
- ・玉ねぎ 1個
- ・ランチョンミート 1缶
- ・コンソメ（固形） 1個
- ・醤油 小2
- ・バター 10g
- ・ブロッコリースプラウト 適量（パセリ等でも可）

<作り方>

- 1) 玉ねぎ両端を切り落とし玉ねぎの皮を剥き、根本を1cm程残して8等分に切れ目を入れておく。
- 2) ランチョンミートを2cm角くらいに切り、コンソメは包丁で削り切っておく。
- 3) 米を研ぎ、水、醤油、コンソメを加えて軽く混ぜておき中心に少し窪みを作り玉ねぎを置き、上からランチョンミートを散りばめる。
- 4) 炊飯器普通炊きでスイッチを押し、炊き上がった後バターを乗せ、玉ねぎをほぐしながら軽く混ぜる。
- 5) 器に盛り付けブロッコリースプラウトをトッピングしたら完成。



♪ポイント

固形のコンソメは包丁で削り切っておくことで固まらず均等に味がまわります。
包み紙の上で削ればまな板の上で散らばらずそのまま投入できるので便利です。



料理研究家 長尾涼子

「家族がよろこぶごちそう」をコンセプトにレシピ開発。子育て経験を活かした、誰もが作りやすく栄養バランスのよいレシピを得意とする。